

## [2] 慢性期の診察で、何を診るか

### (1) 脈

#### ① 脈状

浮：病が表で盛ん  
 沈：病が裏(奥)で盛ん  
 数：熱が高い  
 遅：冷えている  
 虚：虚している  
 実：実している  
 弦：癪(しこ)りがある  
 澁：悪血がある

#### ② 部位

寸(示指)：上焦  
 関(中指)：中焦  
 尺(薬指)：下焦  
 左右：体の左右

### (2) 舌・顔

#### ① 表側

真っ赤：熱  
 白っぽい：冷  
 暗赤色：瘀血  
 湿っぽい：湿(水毒)  
 腫れて歯形：湿(水毒)  
 ひび割れ：乾燥  
 腫れて淡色：虚  
 黄苔：熱

#### ② 裏側

血管が黒：瘀血

#### ③ 顔は、表情、色艶

紅：熱  
 黒ずみ：邪の潜在

### (3) 脚

#### ① 足先、足の甲

足の冷えは、体全体の冷え

#### ② 下腿

各経絡の虚実、寒熱

#### ③ 脚の望診

浮腫、凹凸  
 瘀血(静脈瘤、細絡、打撲痕)  
 #動脈の拍動などが  
 診れば、なお良い

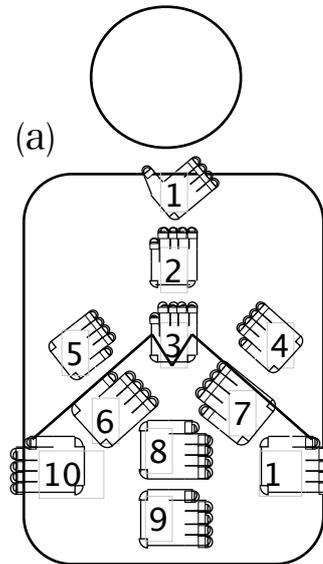
### (4) 腹

- (a)1 >>>上衝：表位に邪が衝く  
 (a)2 >>>心煩：精神症状  
 (他に、心悸、心中懊惱、胸満、胸痞)  
 (a)3 >>>心下痞：水毒  
 (他に、心下悸、心下痞堅)  
 (a)4-5>>>胸脇苦満：少陽病  
 (a)6-9>>>腹満・腹脹(特に、6, 7)  
 (b)⑨ >>>臍下不仁：虚  
 (b)⑥⑧>>>少腹急結：瘀血(現在は出ないことも)  
 (b)(ほかに、臍傍悸、腹直筋拘攣、攣引強急)  
 (臍下悸、臍下堅塊、少腹満享状)

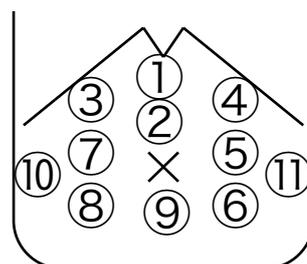
#詳しくは『長沙腹診考』などを参照

- (c)⑦⑧：瘀血(現在では(b)⑥⑧よりも出やすい)  
 左上肩愈④、左章門②、⑩：左上半身の古い病  
 右上肩愈③、右章門①、⑨：右上半身の古い病  
 左下肩愈⑥、左五枢⑧、⑫：左下半身の古い病  
 右下肩愈⑤、右五枢⑦、⑪：右舌半身の古い病

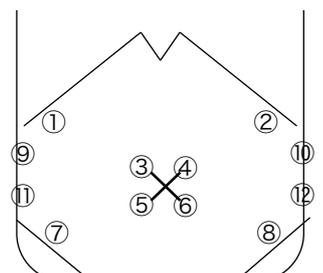
\*いちばん悪い所がどこか分かることが大切!



(b)



(c)



☆基本的に、邪毒は

上焦：邪気

中焦：水毒

下焦：悪血、虚、(食毒)

脇：古い病